

ラジオカセットコーダー

取扱説明書・保証書

CFM-E5

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

© 2010 Sony Corporation Printed in China



使用上のご注意

取り扱いについて

- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。磁気に変化して不具合がおきることがあります。
 - ー時計
 - ークレジットカードなどの磁気カード
 - ーカセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ
- また、本機をテレビの近くには置かないでください。テレビの画像が乱れることがあります。
- カセットデッキを長い間使わなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

ACアダプターについて

- コードを無理に曲げたり、上に重い物をのせたりしないでください。
- アダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに、アダプター本体を持って抜いてください。
- 長い間使わないときは、アダプターをコンセントから抜いてください。

大切な録音を守るー誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をゼロハンテープなどでふさげば再び録音できます。



長時間テープをお使いのときは

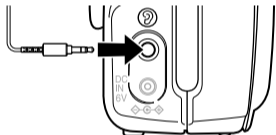
90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こまごまな走行、停止、早送り、巻戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

エンドレスカセットテープについて

エンドレスカセットテープはお使いにならないでください。機械に巻き込まれる場合があります。

イヤホンについて

- イヤホンを使うときには、別売のイヤホンをⓄ(イヤホン)端子に差し込んでください。



- ステレオヘッドホンをⓄ(イヤホン)端子につなぐと両耳から聞こえますが、音声はモノラルです。
- イヤホン端子に接続すると、スピーカーからは音声が出ません。

故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。ご不明な点があるときは、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。

音が出ない

- ACアダプターをしっかりと差し込む。
- 乾電池を正しく入れる。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。
- イヤホンをⓄ(イヤホン)端子から抜く。
- 音量を調節する。
- テープ/ラジオ切換えスイッチを正しい位置にする。

雑音が入る

- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。→携帯電話などを本機から離して使用する。
- AM放送をテレビの近くで聞いている。→本機をテレビから離して使用する。
- マイク録音のとき、周囲の音も録音されてしまう。→できるだけ音源に近づけて録音する。

本機の近くのテレビの画像が乱れる

室内アンテナを使用しているテレビの近くでFM放送を聞いている。この場合、テレビの画像が乱れることがあります。→本機をテレビから離して使用する。

カセットが入らない

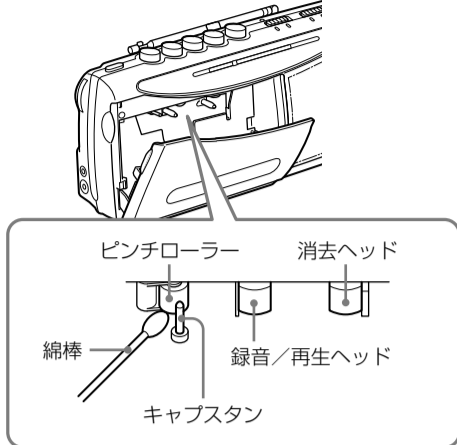
- カセットを正しく入れる。
- 停止ボタンを押して、◀再生ボタンを解除する。

●録音ボタンが押せない

- デッキにカセットを入れる。
- 入れたカセットのツメが折れていたら、穴をゼロハンテープなどでふさぐ。

再生、録音、消去の音質がよくない

- ヘッドが汚れている。長時間使用していると、テープを再生したときに雑音が入る、音が小さい、再生速度がおかしい、音が途切れたり、録音が出来なくなったりすることがあります。→10時間程度使用したら、市販のクリーニングキットまたは無水アルコール(薬局にて販売)を購入のうえ、綿棒に含ませ、下図に示されているテープが触れる面を拭く。



- TYPE II (ハイポジション)、TYPE IV (メタル)テープを使っている。→録音できるテープはTYPE I (ノーマル)のみです。

主な仕様

受信周波数	FM:76 MHz~108 MHz AM:530 kHz~1,629 kHz	
アンテナ	FM:ロッドアンテナ AM:フェライトバーアンテナ内蔵	
トラック方式	2トラック1チャンネル モノラル	
周波数範囲	50 Hz~8,000 Hz (JEITA*)	
早巻き時間	約2分40秒(ソニーカセットテープ C-60使用)	
スピーカー	フルレンジ:5.7 cm コーン型 12 Ω	
出力端子	イヤホン(ミニジャック)、負荷インピーダンス 8 Ω	
実用最大出力	0.9W (JEITA)	
電池持続時間 (JEITA)		
使用乾電池	FM録音時	テープ再生時 ^{*2}
ソニー SUM-3(NS)	約3時間	約3.5時間
ソニールカリAM-3(N)	約12時間	約13時間

電源	家庭用電源(AC 100 V、50/60 Hz) 単3形乾電池4個使用(DC 6V)
消費電力	DC 2.5 W
最大外形寸法	約202 mm × 102 mm × 57 mm (幅 × 高さ × 奥行) (最大突起部含む)(JEITA)
質量	本体 約470 g ご使用時 約530 g(乾電池、テープ含む)
付属品	ACアダプター(1)、取扱説明書・保証書(1)、ソニーご相談窓口のご案内(1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

*1 JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。
*2 音量6分目程度

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

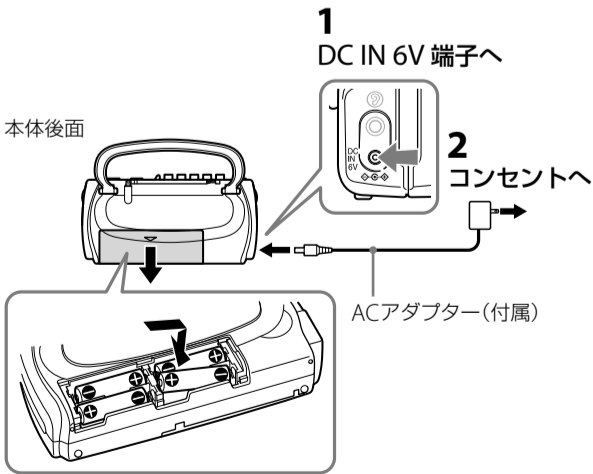
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

電源を選ぶ

家庭用電源で使う

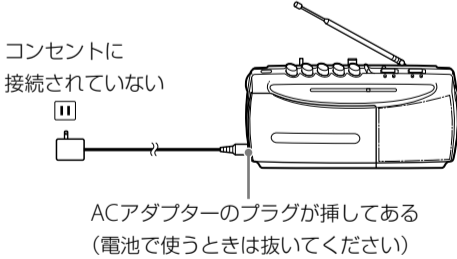


乾電池で使う

別売りの単3形乾電池4個を入れます。

ご注意

- 乾電池でご使用时、下図のような場合本機は動作しません。



- 乾電池が消耗してくると、再生や録音動作、ラジオなどが正常に機能しなくなり、電源/電池ランプが暗くなってきます。その場合は乾電池をすべて新しいものと交換してください。
- この製品には、付属のACアダプター(極性統一形プラグ・JEITA規格)をご使用ください。それ以外のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



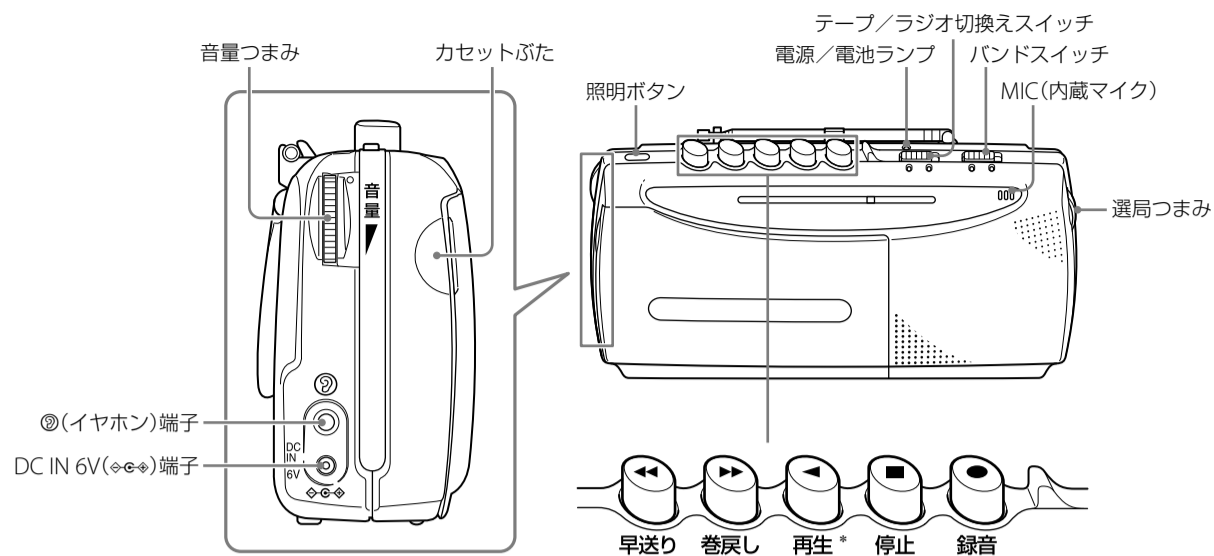
よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口	フリーダイヤル: 0120-333-020 携帯電話・PHS: 一部のIP電話: 0466-31-2511	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に 「304」+「#」 を押してください。 直後、担当窓口へおつなぎします。
修理相談窓口	フリーダイヤル: 0120-222-330 携帯電話・PHS: 一部のIP電話: 0466-31-2531 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。 FAX (共通) 0120-333-389	

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

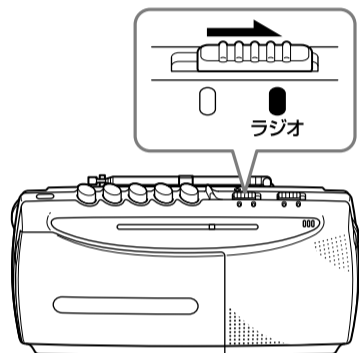
各部のなまえ



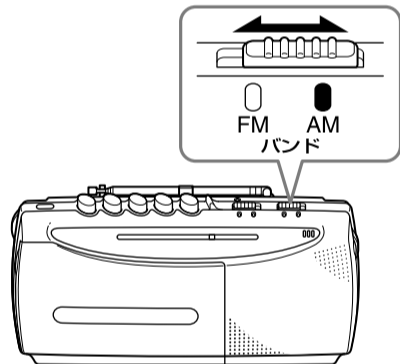
* 再生ボタンの◀マークが凸形になっています。また、音量つまみ近くの音量を上げる側に凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

ラジオを聞く

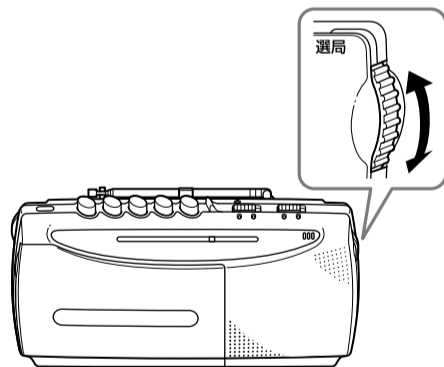
1 「ラジオ」にする。



2 「FM」か「AM」を選ぶ。



3 聞きたい局に合わせる。

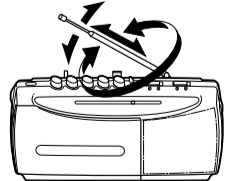


ラジオを消す

テープ/ラジオ切換えスイッチを「テープ/ラジオ切」にする。

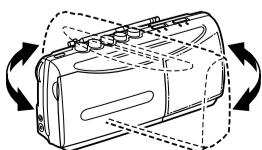
受信状態を良くする

FM放送局



ロッドアンテナを伸ばし、向きを変える。

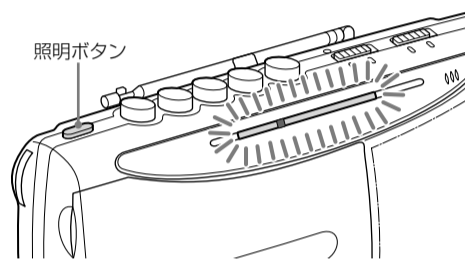
AM放送局



本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。

ダイヤル目盛り板の照明をつける

照明ボタンを押す。約10秒間照明がついているので、暗いところで選局するときに便利です。



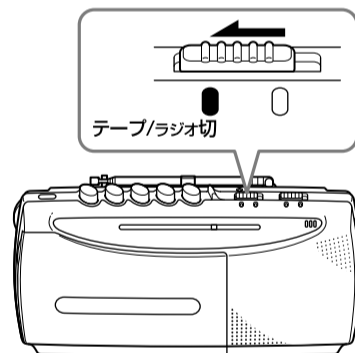
ちょっと一言

イヤホンで聞くには、イヤホンを◎(イヤホン)端子につなぎます。ヘッドホンを◎(イヤホン)端子につなぐと両耳から聞こえますが、音声はモノラルです。

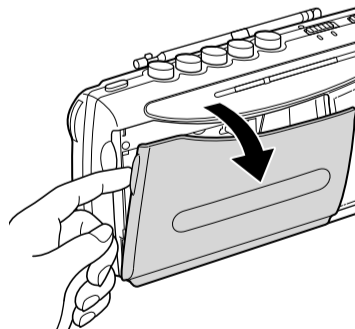
テープを聞く

-TYPE I (ノーマル)テープ専用

1 「テープ/ラジオ切」にする。

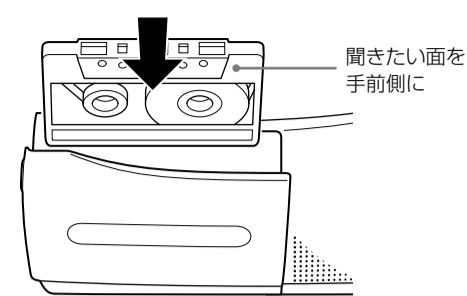


2 カセットぶたを開ける。

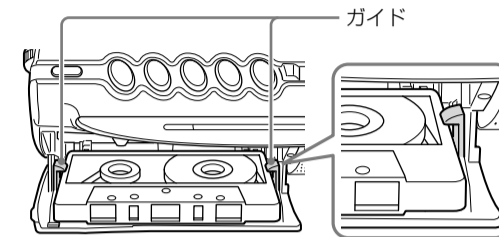


3 カセットを入れる。

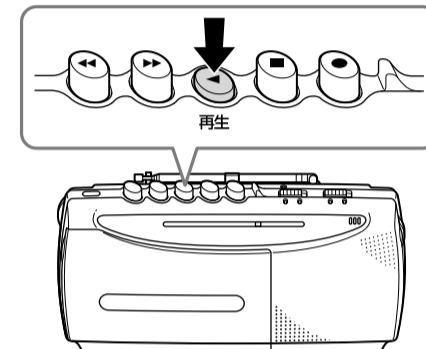
TYPE I (ノーマル)テープをお使いください。



テープを入れる場合、必ず爪状のガイドの内側に入れてください。



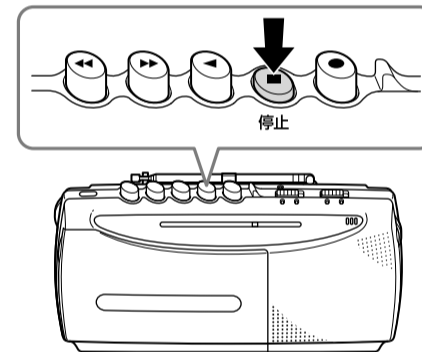
4 ◀再生ボタンを押し込む。



再生を止めるには

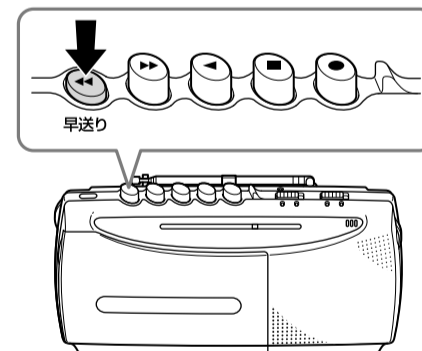
■停止を押す。

テープを最後まで巻き取ると自動的に止まります。



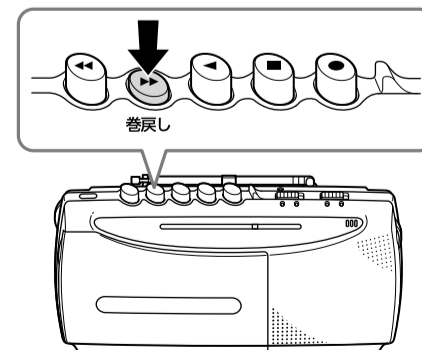
早送りするには

◀◀早送り*を押す。



巻き戻しするには

▶▶巻戻し*を押す。



* テープを巻き終えても、早送りや巻き戻しボタンは自動で戻りません。必ず■停止ボタンを押して、◀◀早送り、▶▶巻戻しボタンを解除してください。

録音する

-TYPE I (ノーマル)テープ専用

1 ラジオを録音するとき

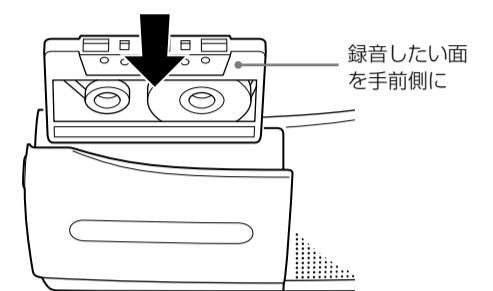
テープ/ラジオ切換えスイッチを「ラジオ」にして、録音したい局を受信する。

MIC(内蔵マイク)から録音するとき

テープ/ラジオ切換えスイッチを「テープ/ラジオ切」にする。

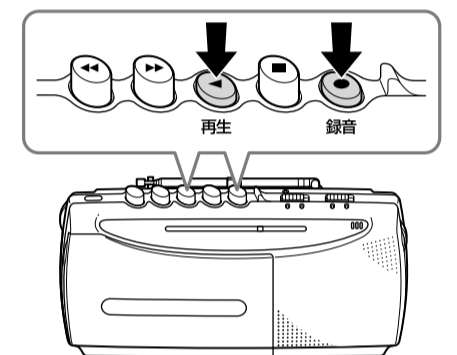
2 カセットを入れる。

TYPE I (ノーマル)テープをお使いください。



3 ●録音ボタンを押し込む。

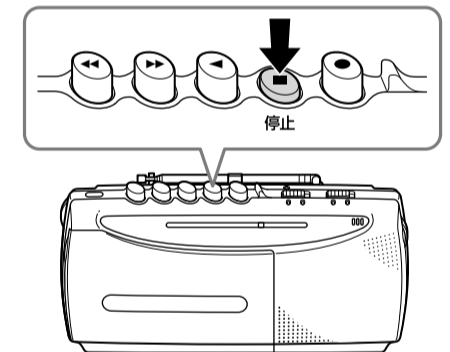
●録音ボタンは他のボタンに比べ、重くなっています。再生ボタンと同時に押しすと、押しやすくなります。



録音を止めるには

■停止を押す。

テープを最後まで巻き取ると自動的に止まります。



ちょっと一言

- 録音するときは、乾電池ではなくACアダプターの使用をおすすめします。
- 音量を変えても、録音される音は変わりません。

ご注意

- MIC(内蔵マイク)から録音しているときは、イヤホンで聞くことはできません。

録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。